

(1) 体制

居宅介護支援センターみすみは、2013年10月に開所し1年半が経過した。スタッフは常勤の介護支援専門員1名(管理者兼務)の体制で、介護保険での居宅サービス計画(ケアプラン)の作成、又、適切なサービス利用ができるよう市町村やサービス事業者、介護保険施設等と連絡調整を行い、在宅生活の支援を行った。

(2) 実績

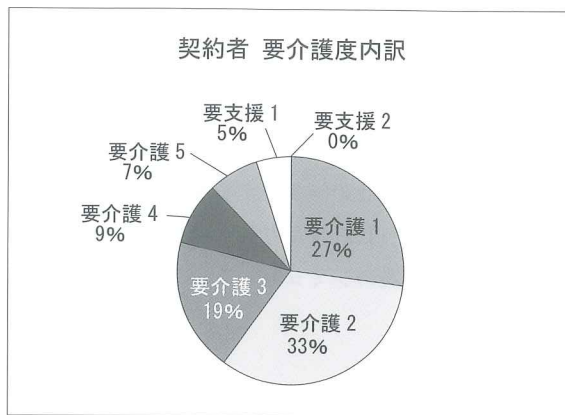
大項目	小項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実績	相談件数	7	6	5	11	12	11	7	8	14	8	5	5
	契約者数	12	14	14	15	17	20	21	23	23	24	24	22
	新規契約者数	2	2	1	2	3	3	2	3	0	3	1	1
	契約解除(死亡、入所など)	3	1	0	1	0	0	1	1	0	2	1	3
	介護保険申請代行	4	3	3	6	7	5	7	9	10	4	3	3
	申請・書類提出	14	5	3	9	8	11	13	7	19	19	15	20
	事業所等の連絡・調整	71	87	68	116	95	108	145	99	123	105	127	119
相談経路	カンファレンス担当者会議	7	6	2	3	6	7	8	6	13	11	11	4
	居宅訪問回数	25	25	19	26	23	23	30	33	36	31	44	46
	本人・家族	1	0	1	3	4	5	2	1	6	1	2	1
	関係機関	3	1	0	1	2	0	0	0	1	1	0	1
	医師	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0
	MSW	1	2	3	6	4	5	3	6	7	5	3	2
	看護師	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
実績	リハビリスタッフ	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0
	サービス利用者	11	13	13	13	17	17	18	18	21	23	24	22
	居宅利用者数	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	1	1

2014年度のプラン作成延べ件数は委託(要支援者の計画作成数11件)を含め221件であった。その中で緩和ケアに移行した方のプラン作成数は4名、暫定プランの作成は1名であった。

相談・介入依頼は94件で家族、MSWからの相談が多かった。内容としては、介護保険の説明・申請手続き、サービス調整などが主で、介護保険代行申請数は61件(新規・更新)であった。

居宅契約者の地域別の割合としては上天草市、宇城市が中心であり(宇城市40%、上天草市57%)、男女比の割合で見るとほぼ変わりはない(男性53%、女性47%)。

要介護度別に見ていくと要介護度1、2が60%を占めており、介護度が重くなるにつれ(特に要介護度4以上になると)、在宅生活は困難になってきている。



世帯別で見えていくと独居世帯が2件、夫婦二人暮らしの世帯が10件、家族同居世帯が13件、有料老人ホーム入所の方が7件であった。老老介護が増えてきており、2人の要介護者を介護している家族、夫婦2人とも要介護状態で生活している世帯もみられた。

(3) 次年度の計画

当院周辺地域は単身世帯の増加、高齢化率の上昇が著しい地域である為、医療・介護の関係機関と連携を密に行い、安心して住み慣れた地域で生活できるよう調整役に努めていきたい。

また、次年度9月末で開所して2年となるが、毎月の契約者数が目標の30名に至っていない。よって、それまでに30名以上に到達できるよう院内外との連携強化に努め、外来・入院患者、緩和ケア患者等への早急な対応を行っていきたい。